

Title	寄贈交換圖書雑誌目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1928
Jtitle	史学 Vol.7, No.2 (1928. 7) ,p.156(310)- 157(311)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19280700-0157

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

せられたが、この内容の主要部が、前者と同様である點に於て、一見して甚だ失望したのである。勿論未だ精讀しては居らない。又前者と同様でも、随分増補訂正せられた點が少なくないが、著者が著者である以上、元本に接する以前に、餘りに多く期待した故でもある。

元來著者の舊石器時代編年は、他の一般、特に佛のブロイ、スヘインのチーバーマイヤー、米國のナスボンなどの舊石器時代と氷河關係を第三氷間期以降に見て行かうとする議論に對し、甚しく古く見て居る點が、有名なのであつて、多くの書物にウキーガの編年として例出せられて居る所は、多くを見らるれば直に了解せらるゝ所である。従つてウキーガーは舊石器時代を一般の如く前後期に二分しないで、前中後期に三分して居るのである。本書に於ても、この根柢は動かさず、「プレ、シエンアン」を以て第一氷間期の始めとなし、各編年期と氷期關係は七年前の前者と變つて居らない。前者から見ると層位學的研究も随分多く、増加せられて居るが、それでも意見に變化の無い所が、他と益々離れてくる。この點から見ると、バイヤーの三氷期説とは、全く違つて、この書も、一般説ではない。然し地質學者であり、この見地から見ると居る所が強いが、其層位學研究に對し、私は全部承認し難き所がある。特に佛國アペール附近の層位に關しては、この著者に對するのみではないが、大なる疑問がある。これに關しては述ぶる可く、こと餘りに多いから他日に譲るが、研究の餘地多いことだけを注意して置く。(私の舊石器時代に關した概論は、折

が、原稿送了したに拘はらず、無斷で中折終了せられてしまつた故、このウキーガーに對する一部私の考も、未發表となつた。外に前者に對しては、私は簡單に、拙稿、石器時代に關する歐米の文献、其二、人類學雜誌、第四一の七に紹介はして居る)

兎に角、右様の次第であるから、本書もバイヤーと同様初學者諸君の讀物ではない。然し各種議論、特に今日論争の盛んなるとき、一方の雄として、其説の是非は、本書を見ればなるまい。ただ本書には、表題に對してか、共働者として、Hans Weinerの Die fossilen Menschenreste を第二編として加へてあるが、蛇足の様に思はるゝ。それ故前者を見た方には、強て必要とも思はれないが、新に見るなれば、本書の方が、増補せられて居るだけ、よいわけである。特に巻尾の参考文献は其數五百二十五に達して居る點に於て、舊石器時代に關する一通りの文献は揃うて居る。(昭和三、六、二一、大山柏)

寄贈交換圖書雜誌目錄

綜合日本史概説下	栗田元次氏著	中	文	館
日蓮聖人傳十講	山川智應氏著	山	川	智
上代譯制の研究	坂本太郎氏著	至	文	堂
近世日本演劇の源流	原田亨一氏著	同	文	堂
皇集第一(金雜文叢第三)		金	雜	學
		院		

洗心洞制記(聖賢遺書新釋叢刊第三)
致道の寶鑑唐の魏徵 赤池濃氏著

(人物研究叢刊第五)

周防國熊毛郡上遺蹟物發見地調査報告書
神社協會雜誌廿七の二、三、四、五、六。

刀劍研究十四の三、四、五。

人類學雜誌四三の一、一ノ附録、
二、二ノ附録、三、三ノ附録、四、五、六、
密教研究廿八、廿九。

國學院雜誌卅四の三、四、五、六。

史學雜誌卅九の三、四、五、六。

東洋文化四六、四七、四八、四九。

歴史と地理廿一の三、四、五、六。

奈良文化十三、十四。

國民經濟雜誌四四の三、四、五、六。

日本文化廿六、廿七、廿八、廿九。

歴史教育二の十二。三の一、二、三。

江戸軟派研究廿一、廿二、廿三、廿四。

民族三の三、四。

龍谷論叢二七八、二七九。

考古學雜誌十八の三、四、五、六。

風俗研究九四、九五、九六、九七。

刀劍と歴史二〇七、二〇八、二〇九、二一〇。

備後史談四の三、四、五、六。

同 院

同 院

防長考古學會

神社協會

南人社

東京人類學會

高野山大學密教研究會

國學院大學

史學會

東洋文化學會

史學地理學同攷會

奈良文化編輯部

神戸高等商業學校

里見日本文化學研究所

歴史教育研究會

江戸軟派研究發行所

民族發行所

龍谷大學

考古學會

風俗研究會

羽澤文庫

備後郷土史會

繹文十九の三、四、五、六。

觀想四六、四七、四八、四九。

歴史地理五一の三。

禪學研究六。

土俗史談廿二。

史林十三の二。

考古學研究二の一、二。

性相二。

系譜と傳記三の一、十。

國史と系譜四の一、十。五の一。

東洋學報十七の一。

筑紫史談四三。

和本一。

明治戊辰展覽會明治元年史曆

カント著『人性論』とツワンベルクの長崎出島滞在記

京都文學會

東洋大學

日本歷史地學會

花園臨濟宗大學

禪學研究會

土佐史話會

史學研究會

考古學研究會

法隆寺觀學院同窓會

立命館大學出版部

同 部

東洋協會學術調查部

筑紫史談會

松本書店

松屋吳服店

武藤長藏氏

會 告

一金貳圓也 昭和三年度上半期會費

右之通り會費振替貯金へ御拂込被下

度御願申上候也

昭和三年七月

三田史學會